

29年3月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 3月1日～ 29年3月10日

2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
3月分の回答企業数は15社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
入荷動向	スギ	10.0	15.0	12.5
	ヒノキ	25.0	12.5	18.8
	カラマツ	50.0	0.0	0.0
	トドマツ	50.0	0.0	0.0
消費動向	スギ	15.0	15.0	5.0
	ヒノキ	△ 7.1	7.1	7.1
	カラマツ	50.0	0.0	0.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
在庫動向	スギ	11.1	0.0	0.0
	ヒノキ	25.0	25.0	0.0
	カラマツ	50.0	0.0	0.0
	トドマツ	50.0	0.0	0.0

・スギ及びヒノキ原木の入荷は、3ヵ月連続で増加。カラマツ及びトドマツは3月の増加が、4月、5月は横ばい。

・スギ原木の消費は3ヵ月連続して増加。ヒノキは3月のやや減少が、4月、5月はやや増加。カラマツは3月の増加が、4月、5月は横ばい。トドマツは3ヵ月連続して増加。

・スギ、カラマツ及びトドマツの在庫は3月の増加が、4月、5月は横ばい。ヒノキは3月、4月は増加が、5月は横ばい。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	29/3月	4月	5月
スギ	△ 22.2	△ 5.6	△ 11.1
ヒノキ	△ 25.0	△ 12.5	△ 18.8
カラマツ	0.0	0.0	0.0
トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ製材原木の価格はやや弱含み。ヒノキは弱含み。カラマツ及びトドマツは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・入荷は2月下旬よりようやく増加傾向となった。トドマツは間柱材の出荷が好調な事で増加。3月末在庫は昨年より減少する見込み(北海道)。
・スギ丸太の入荷は下げに転じそう。売行き鈍化。(関東)。
・製材に合わせて入荷を進めていくため、入荷量の変動はあまりない。製材量はほぼ一定なので消費量の変動はなし。4月以降も去年と同様に出材が減少しない見込み、節句の時期という事もあり在庫増。4月以降も少しずつ仕入れ減で在庫を調整していく(近畿)。
・3月の入荷は動き良い、4月は少し落ち込む、5月は中頃より良くなると予想。消費量は稼働日数により変動するが、一日当たりとしては量は多い。在庫量は4月をピークに減らす見込み(中国)。
・製品需要の動向とは逆に入荷量が増えてきた。消費は原木入荷動向に比例。在庫は製品が売れなくなると丸太が増える(中国)。
・地域のヒノキ専門製材所が3月末の閉鎖の影響でヒノキ丸太は買い易くなった。スギ製材品(特に10.5cm柱)は引き合いがまだまだ強いが、丸太不足で対応できない。その分ヒノキ丸太の消費が増えている。スギは少ないまま横ばい(中目はそこそこある)。ヒノキも入荷する柱材については全量消費している(中国)。
・入荷は年度末の関係で多少の増量は見込めるのでは。消費はほぼ変わらず(九州)。
・ヒノキ入荷は天候良好で出材順調。消費は3月中は機械入替えのためやや減少(九州)。

(原木価格)

- ・ 2月に雪の影響で価格が一時上昇したが、現在は多少下がり、落ち着きつつある。当面は目立った価格変動はないと思う(近畿)。
- ・ 3月はやや下落と予想(中国)。
- ・ 値下げの方向性は間違いない(中国)。
- ・ 地域のヒノキ専門製材所が3月末の閉鎖の影響でヒノキ丸太は買い易くなったことから、柱取り中心にヒノキ丸太の価格は弱含み(中国)。
- ・ ヒノキ丸太の出荷順調、買い気やや下がる(九州)。
- ・ 年度末に向けて多量の出材傾向。バイオマス、合板共に必要量はキープするが、それ以上の出材があると多少の値崩れが起こる可能性(九州)。

29年3月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
生産動向	スギ	5.0	10.0	10.0
	ヒノキ	6.3	12.5	12.5
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
出荷動向	スギ	15.0	0.0	△ 10.0
	ヒノキ	12.5	12.5	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	50.0	50.0	50.0
在庫動向	スギ	△ 10.0	△ 5.0	10.0
	ヒノキ	6.3	18.8	12.5
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	—	—	—

- ・スギ及びヒノキ製材品の生産は3ヵ月連続して増加。カラマツは3ヵ月連続して横ばい。トドマツは3ヵ月連続して大きく増加
- ・スギ製材品の出荷は3月の増加が、4月は横ばい、5月は減少。ヒノキは3月、4月の増加が、5月は横ばい。カラマツは3ヵ月連続して横ばい。トドマツは3ヵ月連続して大きく増加。
- ・スギ製材品の在庫は3月、4月のは減少が、5月は増加。ヒノキは3ヵ月連続して増加。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
スギ	柱角 KD10.5×3	10.0	5.0	△ 15.0
	柱角 KD12×3	△ 5.0	△ 5.0	△ 10.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	△ 12.5	△ 6.3
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	5.0	5.0	△ 10.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	△ 14.3
	ラミナ	0.0	0.0	0.0
	ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	△ 6.3
柱角 KD12×3		0.0	△ 6.3	0.0
土台角 10.5×4		0.0	6.3	△ 6.3
土台角 12×4		0.0	0.0	△ 6.3
通し柱 12×6		0.0	0.0	△ 8.3
ラミナ		0.0	0.0	△ 10.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	0.0	0.0	0.0	
〃 ラミナ	0.0	0.0	0.0	
トドマツサンギ	—	—	—	

- ・スギ製材品の出荷価格は総じて横ばいないし弱含みで推移。
- ・ヒノキ製材の出荷価格は総じて横ばいないしやや弱含みで推移。
- ・カラマツ梱包材、カラマツラミナは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(製材品荷動)

- ・生産は稼働日並み。出荷は3月までは忙しい、4月以降の動きは不透明。4月、5月は動きが悪そう（近畿）。
- ・生産は3月～4月は横ばい、5月から忙しくなると予想。出荷は3月～4月は横ばい、ゴールデンウィーク明けから動くと予想。3月～4月は在庫増やす（中国）。
- ・生産は丸太入荷に比例している。需要が減速している。B品中心に在庫が増えてきた（中国）。
- ・ヒノキの入荷が増えた分増産（残業等でなく毎日フル稼働で）している。1社閉鎖の影響でヒノキ柱材の注文が若干増えた。4月以降はもう少し増える見込み（中国）。
- ・大分一服感は出てきているが、例年よりは受注減が多く、在庫ができるまでではない。流通は一服感があるところが多いようだ（九州）。
- ・3月は機械入替えのため生産・在庫とも減少。出荷は5月の連休後が変わり目になるか？（九州）。

(製材品出荷価格動向)

- ・スギ10.5cm角もピークアウト(関東)。
- ・スギ、ヒノキで一部の市場で小売屋の価格が上がっているのみ。大手は変わらず(近畿)。
- ・スギは変わらず。ヒノキは価格への影響は今のところなし(中国)。
- ・ヒノキ3m柱角はやや下げ基調、それ以外は横ばい(中国)。
- ・スギ変わらず。ヒノキも変わらず(中国)。
- ・スギ、ヒノキとも引き合いが減っており、製材工場の丸太(製品)在庫が増えているので、必ず下がっていく(中国)。
- ・年度末にかけて多量の出材傾向。バイオマス、合板共に必要量はキープしていけるだろうが、それ以上の出材が発生すると多少の値崩れは起こる可能性。大手メーカーは山側からの安定的な供給量をキープできれば価格が上昇することはなくなる(九州)。
- ・ヒノキ製品は低いところで横ばいから、5月の連休後は製品価格値下げに(九州)。
- ・スギ製材品は9~10月の出荷を見越して向こう1年フル生産の予定。現在でも出荷が多く、5月分まで受注があり、在庫をつくられていない(九州)。

29年3月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
仕入動向	米マツ丸太	100.0	0.0	△ 50.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	100.0	△ 50.0	△ 50.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	0.0	50.0	0.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の仕入れは3月の増加が、4月は横ばい、5月は減少。消費は3月の増加が、4月、5月は減少。在庫は3月の横ばいが、4月は増加、5月は横ばい。

・ラジアータ丸太は仕入、消費、在庫とも横ばいで推移。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/3月	4月	5月
米マツ丸太	50.0	0.0	0.0
NZラジアータ丸太	0.0	0.0	0.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の購入原木価格は3月の強含みが、4月、5月は横ばい。

・NZラジアータ丸太の購入価格は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動)

・ラジアータ丸太の荷動きは変わりなし（中国）。

(原木価格動向)

・ラジアータ丸太の購入価格は変わりなし（中国）。

29年3月分

製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
生産動向	米マツ製材品	100.0	△ 50.0	△ 50.0
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	100.0	0.0	0.0
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	50.0	0.0	△ 50.0
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

・米マツ製材品の生産は3月の増加が、4月、5月は減少。出荷は3月の増加が、4月、5月は横ばい。在庫は3月の増加が、4月は横ばい、5月は減少。

・NZラジアータ製材品の生産、出荷は3月、4月は横ばい、5月は減少。在庫は3月、4月は横ばい、5月は増加。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
米マツ平角		0.0	0.0	0.0
米マツ正角		50.0	0.0	0.0
米マツ小割		0.0	0.0	0.0
北洋エゾマツタルキ		—	—	—
北洋アカマツタルキ		—	—	—
NZ梱包材(割板)		50.0	0.0	0.0
NZ梱包材(割角)		50.0	0.0	0.0
NZ土木用材		50.0	0.0	0.0
その他		—	—	—

・米マツ平角及び小割の出荷価格は3ヵ月連続して横ばい。正角は3月の強含みが、4月、5月は横ばい。

・NZ梱包材(割板)、NZ梱包材(割角)、NZ土木用材の出荷価格は共に3月の強含みから、4月、5月は横ばいへ。

モニターからのコメント

(製材品の荷動き)

- ・4月より不需要期に入る(中国)。

(製材品出荷価格動向)

- ・3月に多少値上げした(中国)。